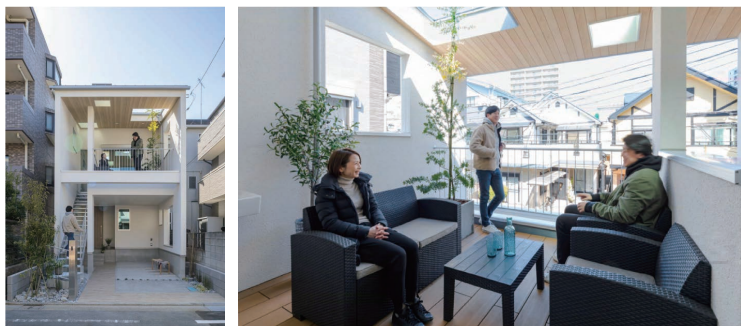
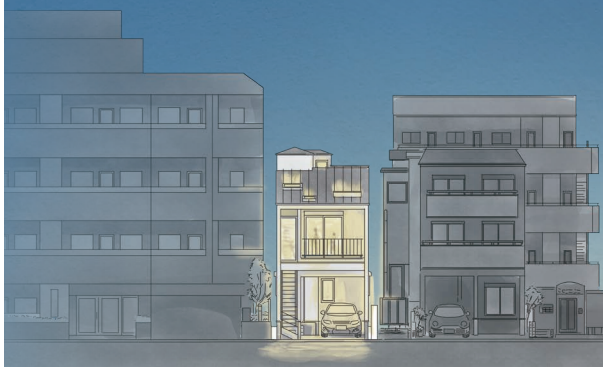


# 街とつながる 空中の縁側

受賞作品① 江戸川区

## 街とつながる空中の縁側



### 概要

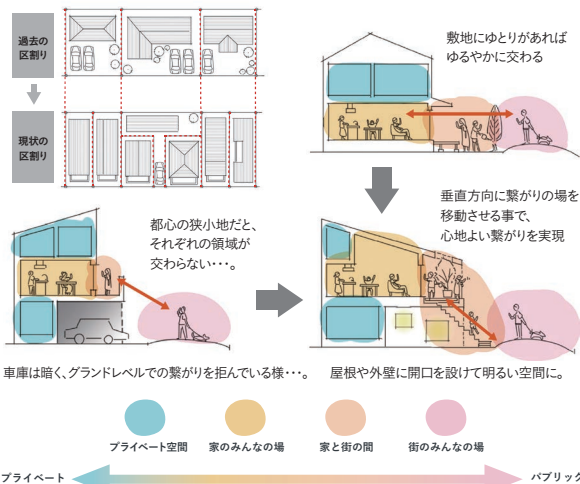
外部から直接アクセス可能なバルコニーのある戸建住宅です。道路に面したバルコニーが昔の日本の住宅における縁側のような役割を担います。道路面と程よい距離感を保ちつつも家の生活が街に漏れ出て、街と家の境界を曖昧にします。街とつながる事で、職住一体の生活など、バルコニー空間を活用したライフスタイルの幅が広がる住宅です。

### 課題への着眼点

都市部では、年々土地価格が上がり続けており、購入層の年収に見合う金額にするためには、敷地を小さく区割りする必要があります。その分、敷地のゆとりがなくなり、グランドレベルに庭など、街と家との間の余白がなくなっています。そこで、垂直方向に繋がる場を移動させることで、心地よい繋がりを実現させました。また明るく開放的な室内空間になるよう屋根や外壁に開口を設けました。

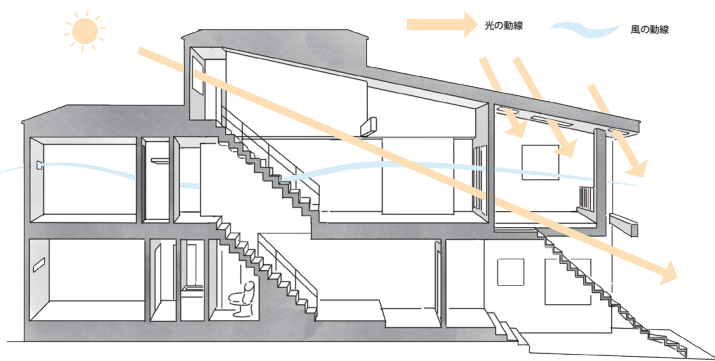
### この家から広がる、街とのつながり。

道路に面した開放感ある2Fバルコニーは、人の生活を感じさせながらも、プライベートを保った新しい住宅構造。人々の生活が馴染んでいる街並みに、活気を与える住宅です。



### 開放的な室内空間

室内は1Fから2Fまで空に抜ける計画となっています。狭小地でありながら、南側からの光や風をたっぷりと室内に取り入れることができます。



### 限られた敷地内で充実した生活空間

街とつながるバルコニー以外にも、限られた敷地の中で多くの工夫が施されています。1Fには3部屋と合わせてDENをご用意。2Fにはテレビボード裏に収納空間を設置しました。様々な使い方ができるルーフバルコニーも設けているので、生活の幅が広がります。

